



## 道北技術士協議会の活動

北海道技術士センター 道北技術士協議会 会長  
技術士（農業部門） 遠藤 優

### 1. 協議会の設立経緯

本会は「北海道技術士センター・道北技術士協議会」と称し、北空知の深川から上川、留萌、稚内を活動の区域としており、事務局を旭川市内に置いています。

設立の経緯は、1988年8月2日に北海道技術士センター連携強化委員会の指導を受けながら設立準備委員会を開催し、その後、同年12月18日に設立総会を開催して協議会を発足し、現在に至っています。

協議会設立当初の会員数は、わずかに7名でしたが、2003年現在では会員数70名を数える組織に発展し、専門分野も8部門に及んでおります。

### 2. 活動の目的

本協議会は、道北地方に在住する技術士および技術士補の合格者同士の親睦と技術の向上を図ることを目的としています。

この目的を達成するため、総会や懇親会を行って会員相互の情報交換や交流を図るとともに、会員への情報提供を行っています。また、CPD活動として研修会や現地見学会を企画しています。

そのほか、地域の諸団体に対して、技術力向上のための講習会や講師派遣などに対する助言と協力を行っています。

### 3. 2003年の活動状況

#### (1) 情報の交換と提供

本年3月に、恒例の年1回の総会と懇親会を開催しております。総会時には自己紹介や名簿による連絡先などの情報提供を行い、会員相互の交流の一助としています。そのほか、会員に対し日本技術士会

支部や北海道技術士センターの研修および行事予定についての情報連絡に努めています。

#### (2) 研修会

総会に引き続き研修会を開催しており、本年は日本技術士会北海道支部副会長から「技術士を巡る最近の動向」と題して、制度改革の内容や継続教育の必要性等についての学習を行いました。

さらに自己研鑽のため、専門分野以外についても幅広い知識を修得して行くとの観点から、林業部門の会員の協力で「地球環境と木材利用」のテーマで、講演を実施しました。

本協議会は対象区域が広く、なかなか全会員が一堂に会する機会を持っていないこと、あるいは専門分野が多岐にわたるため、共同のテーマで活動する事が困難である事が悩みの種となっています。

しかし、専門分野が多岐にわたるという状況を逆手にとれば、自己の専門技術以外の知識について学べる機会が広いということでもあり、会員同士の連携が出来れば幅広い提案が出来るということでもありますので、将来はその特性を生かす活動を計画して行きたいと考えています。

#### (3) 現地研修会

本年7月に、旭川市周辺を対象に現地研修会を開催しました。視察先は3月に実施した研修会のテーマとの連続性を考えて「木質資材の活用」を念頭に、北海道林産試験場、旭川市神楽見本林、バイオトイレ製造会社の3カ所としました。

特に林産試験場は、実用的な試験研究に取り組んでおり、集成材をはじめとする木材の有効活用や、

より幅広い木材利用の可能性を追求する技術開発が進められておりました。また企業に対する技術指導や相談、依頼研究が行われており、技術普及の在り方についても参考になりました。

次にバイオトイレ（オガ屑活用）製造会社では、従来は廃棄物であるオガ屑（オガ粉）の有効活用など、身の回りからの発想や工夫による製品開発事例を視察しました。そしてベンチャー企業経営者の先端技術に掛ける意気込みと、現状における新技術普及上の課題などを学びました。

神楽見本林では、外国種針葉樹の導入など、先人が北海道開発に架けた夢の熱い息吹を感じながらの観察でした。

本協議会では、今後も地域での先端技術の取り組み状況や、専門外の分野の見聞が広められるような機会を提供して行きたいと考えています。

#### (4) その他

上川調査設計協会に対し、技術士（補）受験に対する情報の提供、ならびに RCCM 資格取得の講習会企画（9月に実施）や講師依頼等についての助言や協力を行っています。

#### 4. 事務局および入会申込先

本会の事務局および入会申込先は、次の2カ所です。

##### 事務局

〒070-0037 旭川市6条通3丁目右10号

新谷建設(株)営業部 遠藤 優

電話 0166-22-6166 FAX 0166-22-6446

##### 入会申込先

〒074-1271 深川市広里町4丁目1-3

(株)ルーラルエンジニア 菅原敏明

電話 0164-26-3411 FAX 0164-26-3070